親亡き後、
まず備えておくべき3つのこと 葬儀・お墓・手続き

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける

想親メモリアル

自己紹介

- 鈴木秀志
  株式会社想親　　想親メモリアル代表

昭和48年　品川生まれ

10年前　異業種（大手飲食チェーン）から葬儀業界へと転職

5年前　葬儀業界の不透明性を打破し、正直な商売を行いたいという気持ちだけで独立

・核家族・少子化・高齢化にあわせた葬儀の価格の見直しのセミナーを開催

・老人ホームと連携し、「看取り」を取り巻く環境向上のための積極的な活動を行っている。（現在、都内数十施設と連携）

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける

想親メモリアル

葬儀社に勤めてわかったこと

- 『人は必ず死ぬ』
- 『一人では死ねない』
- 『事前準備が何よりも大切』

葬儀社に勤めてわかったこと

- 『人は必ず死ぬ』
- 人は必ず死ぬ’ということは、誰でも理解していること。いつかは死ぬ。
- しかし、普段の生活ではなかなか死というものを意識することはない。
- 今日と同じように明日がくるといった日々を過ごしているのではないか。
- しかし、葬儀の仕事をしていると死は‘日常’であり、いつ死がくるかは本当にわからない、と痛感している。
- 自然死（老衰・病死）はもちろん、孤独死・自殺・事件・事故も。
- テレビや新聞の話ではなく、現実として目の前に現れてくる。
- 人生をだらしなく過ごした自分でも、この仕事に就くことで、自分の人生を見つめなおすことが多くなった。

葬儀社に勤めてわかったこと

- 『一人では死ねない』
- もし、今あなたが自宅で倒れた時に、誰かがあなたの急変に気づき対応してくれる環境でしたら、無理に“もしもの時”に備えておかなくてもよいでしょう。
- そうでなければ、コミュニティ（人との交流）を広げる必要があると思います。“もしもの時“に限らず、急病やトラブルが起きた時にフォローしてくれる人が近くにいることは、非常に大切です。

葬儀社に勤めてわかったこと

- 『一人では死ねない』
- 多くの方は亡くなる数年前より高齢や病気（特に認知症）などで、自身でできることが少なくなってきます。気が付いた時には自分の意志や情報を伝えることができない状況になっている方が多いように感じます。
- もし、あなたがそのような状況になった時、支えてくれる方は誰ですか？具体的には、病院の付き添い、入院の保証人、介護などです。
- おそらくその方が、あなたの葬儀のお世話をされる可能性が高いと思います。
- あなたの世話をしてくれる方を困らせないためにも、いろいろお話をして情報を共有していきましょう。
- ‘’もしもの時‘’の話は元気なうちにしかできません。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

葬儀社に勤めてわかったこと

- 『事前準備が何よりも大切』

- あなたの世話をしてくれる方を困らせないためにも、いろいろお話をして情報を共有していきましょう。
- “もしもの時”の話は元気なうちにしかできません。

突然ですが、『もしもの時』葬儀社にどのように依頼したらよいか考えたことはありますか？

よくある例

- 一般的な家族葬でお願いします
- 前回と同様にお願いします
- 他の方と同じように…
- 恥ずかしくないように…
- お葬式っていくらくらいかかりますか？

👉全く具体的ではありません。葬儀社の思うつぼになってしまいます。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お葬式の依頼の仕方も一緒です

- ディーラーに車を買いに行くときに
  『車下さい』『みんなと同じ車下さい』とは
  言いませんよね。
- しっかりと希望を伝えないと、心無い葬儀社は
  お客様に
  『バス』や『デコトラ』を売りつけるかもしれません。

①もしもの時になぜ慌てて
しまうのでしょうか？

慌ててしまう４つの理由

- 精神的理由
- 時間的理由
- 情報的理由
- 外因的理由

慌ててしまう４つの理由
精神的理由

- 大切な方を亡くしてしまったことによるストレス（何も考えられない。。。どうしたらよいかわからない）

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

慌ててしまう４つの理由

時間的理由

- 突然のことで何の準備もしていない
- お亡くなりになってすぐ葬儀社を決めなければならない
- 短い時間で葬儀に関するすべてのことを決めなけなればならない

慌ててしまう４つの理由
情報的理由

- 何をしたらよいかわからない。
- 日頃、葬儀に関する情報を集めていない
  （縁起でもない…）
- 相談する相手がいない
- 判断するための『経験・情報』がない
  （葬儀の参列の経験は多くとも喪主の経験は少ない）

慌ててしまう４つの理由
外因的理由

- ご逝去場所（病院・警察など）から
  ご逝去後すぐの出発を促される

- 病院・警察関係者による積極的な業者の紹介

- 病院・警察に出入りしている葬儀会社による過剰の
  営業

慌てなくて済む方法

もしもの時に

・考えなければならないこと

・決めなければならないこと

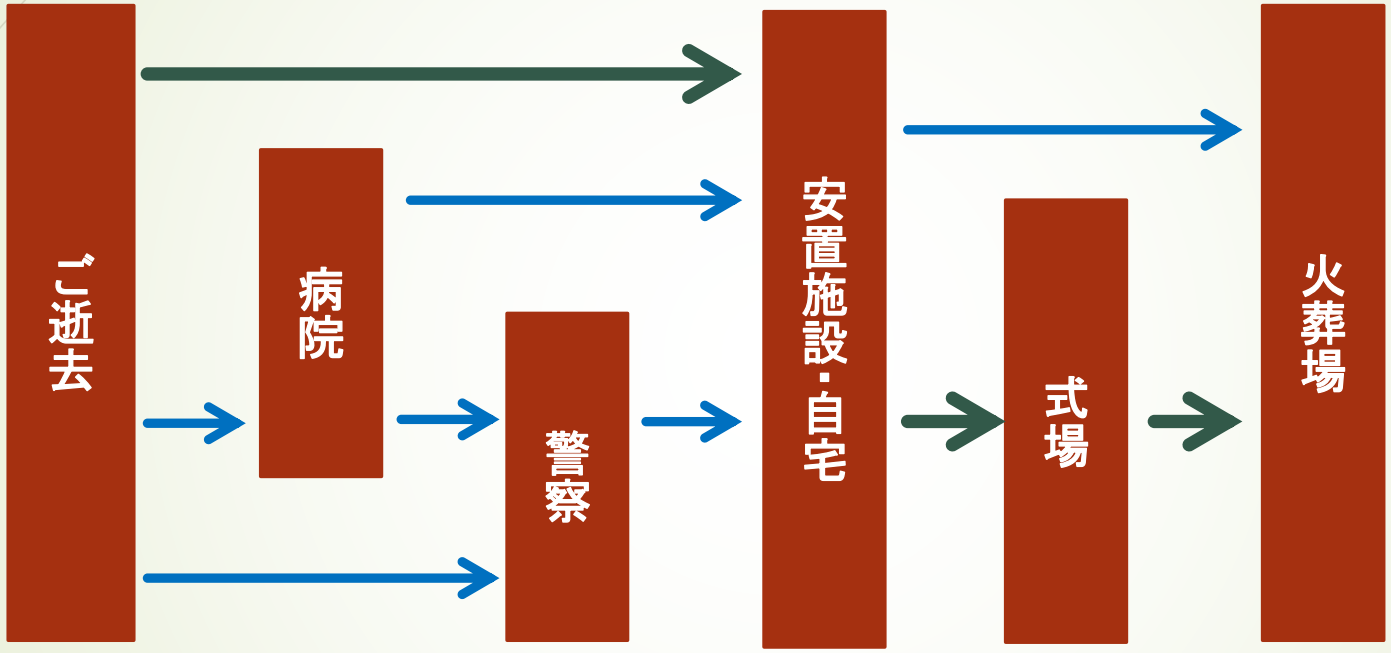
・行動しなければならないこと

を事前に少しでも考える機会があり、相談できる適切な方を見つけていれば

慌てることは少ないと思いませんか？

②逝去から葬儀までの流れを知っておきましょう

ご逝去から葬儀までの流れ



- ・医師、看護師の判断により看取りの状態でも緊急搬送の対応を取ることがあります。
- ・死因によっては警察が検視を行います。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お葬式までに決めること

ご逝去場所

1時間～半日

決定する項目等

- 葬儀社の決定
- 安置先の決定
- 棺の決定
- 親族への連絡

安置施設・ご自宅

翌日～数日

決定する項目等

- 宗教者への連絡
- 予算の確認
- 日程、式場、規模等の決定
- おもてなしの決定
- 遺影、思い出の品の決定

葬儀式場

非常に短い時間での検討が多く、ご家族に負担がかかりやすくなります。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

慌てないために考えておきたいこと

- ご安置先
- 訃報の連絡先・連絡順
- 式についての希望
  - ・喪主をだれにするか
  - ・参列者の想定
  - ・式の形式（家族葬・一日葬・火葬式）
  - ・宗教の確認（宗教家への連絡先の確認）
- 予算
- 信頼できる葬儀社選び

慌てないために考えておきたいこと

訃報の連絡先・連絡順

- 訃報の連絡もれ、連絡の順番によるトラブルがある
  →リスト出しが有効　参列者数の予測にもつながる

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

慌てないために考えておきたいこと

ご安置先

- 葬儀社と打ち合わせの際、一番最初に聞かれる項目
- 自宅の2階やマンション・アパートでも安置可
- 安置施設は予約ができないので、当日の空き状況によっては希望の施設に安置できない場合がある。

慌てないために考えておきたいこと

式についての希望

- 喪主…喪主が高齢な場合など、実質的に葬儀に関することを決める方を選ぶことが大切
- 参列者の想定…故人の年齢、交友関係によっては家族葬にするとデメリットも
- 式の形式の希望…火葬式の場合、宗教者によっては認められない場合がある
- 宗教の確認…葬儀日程を決める際に宗教家に確認

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

慌てないために考えておきたいこと

予算

- 葬儀費用をどこから捻出するか？
  - ・預貯金
  - ・生命保険金
  - ・親族による立替
  - ・香典
  - ・積立（互助会）

※火葬場費用・式場費は原則当日現金支払いです

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

慌てないために考えておきたいこと

信頼できる葬儀社選び

事前に葬儀社（できれば複数）に連絡をとり
葬儀に対しての説明を受けることが大切。
葬儀担当者と会うことも大事。
※資料請求だけでは、相手の顔も見えず不安。

対面による「事前相談」をお勧めします。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

③事前相談は重要です！

なぜ事前相談が重要なのか

葬儀社に事前相談を行っていない場合

ご逝去場所

1時間～半日

決定する項目等

- 葬儀社の決定
- 安置先の決定
- 棺の決定
- 親族への連絡

安置施設・ご自宅

翌日～数日

決定する項目等

- 宗教者への連絡
- 予算の確認
- 日程、式場、規模等の決定
- おもてなしの決定
- 遺影、思い出の品の決定

葬儀式場

非常に短い時間での検討が多く、ご家族に負担がかかりやすくなります。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

なぜ事前相談が重要なのか

葬儀社に事前相談を行っている場合

ご逝去場所

1時間～半日

葬儀社への連絡をして事前に決めておいた内容で依頼

安置施設・ご自宅

翌日～数日

事前見積の内容や金額等を確認し依頼

葬儀式場

事前に内容を決めてあるので、負担がすくなく、しっかりとお別れができます。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

事前相談のメリット

- 細かい打ち合わせに忙殺されずに、ゆっくりお別れができる
- 専門家に相談することで自分の要望をしっかり把握することができる
- ゆっくり考える時間があり、葬儀社の選定、その後の交渉ができる
- 概算の費用を把握でき、予算、希望に合うお葬式が準備できる

- いざという時に落ち着いて行動できる！
- 信頼できない葬儀社に葬儀を頼まなくても良い！

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

事前相談のポイントと注意点

- 相談する際に、予算・参列者・式の形態・場所などをイメージしておく。
  （イメージできない場合、初回の相談でアドバイスをもらう）

- 不慣れな葬儀の打ち合わせは葬儀社任せになりがち。
  必要以上に料金がかかってしまう場合もあるので注意しましょう。

- 事前相談で見積書を出してもらう場合は、実際に利用する葬儀式場や参列者などを想定した具体的な内容で 作成してもらいましょう。
  見積もりで変動する部分や、総額についてしっかり確認することが大切です。

- 相談をもとに冷静に考えるためには一人で考えず、家族や親しい方に相談し情報を共有することも大切です。
  見栄や世間体・古い固定観念に振り回されずに、本当に必要かどうか判断しましょう。

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

④葬儀社について知って
おきたいこと

皆様お気づきの通り、葬儀社選びは非常に重要です

- 葬儀社はだれでもなれます。資格、認可、届け出は必要ありません。
- 葬儀社を監督する官庁はありません。
  （消費者トラブルは消費者庁・互助会は積立金に関して経産省が管轄）
- 広告についてのガイドライン、自主規制など行われていない業界です。
- （したがって、見積もりや告知物でお客様を錯誤に陥れるようなものが散見されている。）

良い葬儀社を選ぶコツ

- 事前相談・見積もりを取りましょう
  具体的なイメージをもって相談に臨むことが大切です。
  （こちらから予算をいう必要はありません）

例：中野区の老人ホームに入居しているおばあちゃんのもしもの時のことを考えています。

親族10名・一般5名が参列予定。

ほぼ家族ですので、立派な祭壇や棺は必要ないと考えています。

式場、祭壇、棺を提案してください。（祭壇は写真もください）

（必要なら相見積もりをとると言っても構いません）

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

見積書のポイント

①項目別にわかりやすく表示されていますか？

・『葬儀一式』『セット』『プラン』の詳細が明示されていない見積書を出す葬儀社は不明朗です。

・見積と、実際の葬儀費用が異なる原因は『日程』『参列者数』

『日程変更』→安置施設使用料・ドライアイス代

『参列者数』→おもてなし費用・車両費・追加人員など

変動項目が分かりやすい見積もりと丁寧に説明する葬儀社が良い

見積書のポイント

②すべての費用が計上されていますか？

葬儀社によっては、葬儀社の利益とならない部分（火葬料・式場料・おもてなし費用など）を計上せずに見積もりを出すところがあります。

見積りで算出されている式場・火葬場が自分の希望する場所になっているか確認することも大切。

（地方公共団体によっては無料の施設もあり、悪徳業者はこれを利用する）

⑤お墓について考えてみる

お墓について考えてみる
祭祀継承者とは

お墓の名義人が亡くなると、墓地や仏壇、位牌などといった『祭祀財産』を受け継ぐ方を決めなければなりません。

この継承者を『祭祀継承者』と言います。

お墓について考えてみる
祭祀継承者の優先順位と役割

1，遺言で指定された人物
2，慣習や話し合いにより決められた人物
3，家庭裁判所が定めた人物

お墓の維持・管理費の支払いを行う

もし、できる人がいない場合は、、、

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

『墓じまい』を考えたほうが良いでしょう

→何もせずに放置すると無縁仏とみなされ、
合祀墓に移されてしまします。

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる
墓じまいとは

・お墓から遺骨を取り出し、墓石を撤去して更地にしたうえで、土地を管理者に返還します。
・改葬手続きを行います。
・取り出した遺骨を新しい場所に納めます。

お墓について考えてみる
墓じまいのながれ

親族と相談　同意 → 墓地管理者に連絡 → 遺骨の納め先を決める → 改葬手続きを行う → 閉眼供養・墓石の撤去 → 新しい場所に遺骨を納める

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる
墓じまいとは

注意点

・親族の理解を得ないまま独断で判断するとトラブルに発展する可能性が高くなります。

・墓石の撤去・更地にする費用や、寺院墓地の場合離壇料といった高額の費用が掛かる場合があります。

墓じまいしたあとの遺骨の供養の仕方について

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる

墓じまい後の遺骨の供養方法

・新しいお墓に立てる・別のお墓に入る
・永代供養
・散骨
・手元供養

お墓について考えてみる
永代供養とは

霊園や寺院が、遺族の代わりに遺骨の管理を行ないます。
これを『永代供養』と言います。

永代といっても、期限を設けて預かるケースがほとんど。
契約によって10年、30年、50年など様々。
年会費がかかる場合もあります。

お墓について考えてみる
永代供養とは

永代供養墓の種類

- 永代供養墓
  - 永代供養付一般墓
  - 自然葬
  - 納骨堂
  - 合祀墓

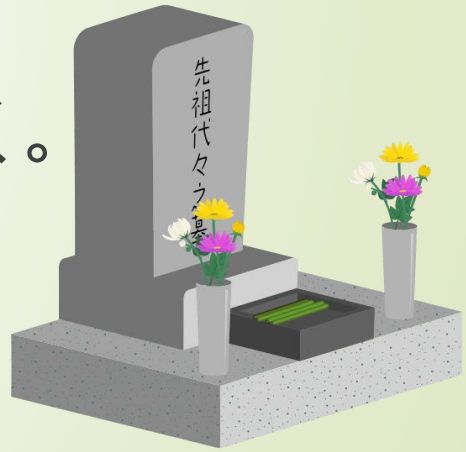
「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる
永代供養墓の種類

- **一般的なお墓に永代供養の契約を付ける**

お墓の継承者がいなくなった際に、管理者に
改葬をお願いする契約をあらかじめ結んでおく。

費用はそれなりにかかる



「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる
永代供養墓の種類

- **樹木葬**

墓石の代わりに樹木を墓標とするお墓の形

霊園・墓地によってさまざまな形式がある

自然派志向の方には好評

粉骨が必要な場合が多い

- **海洋散骨**

散骨可能な海域まで船をチャーターするので

専門業者に依頼することが多い。

お参りは大変

「心」をつなぐ。「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

お墓について考えてみる
永代供養墓の種類

- **納骨堂（個別安置タイプ）**

コインロッカーのように区画されたスペースに
遺骨を安置　最近は搬送式の納骨堂も多い

お墓について考えてみる
永代供養墓の種類

- **納骨堂（集合安置タイプ）**

遺骨を他の遺骨と同じスペースで管理するが、
骨壺のままで管理するため、途中でも遺骨の取り出しが可能

お墓について考えてみる
永代供養墓の種類

- **合祀墓**

遺骨を骨壺から取り出し、他の方と一緒に
埋葬する方法。
他の遺骨と混ざるため、途中で取り出せない。
永代供養の中で最も費用が安い。
納骨堂タイプのお骨も最終的には合祀墓に
入ることが多い。

葬儀が終わってから行うこと
手続き

- 健康保険…保険証返却・高額療養費の申請・葬祭料受給
- 年金…年金停止の手続き・遺族年金受給の手続き
- 保険…保険金受取
- 名義変更…預貯金・公共料金・不動産・株券・会員権など
- 解約…身分証明書・クレジットカード・インターネット関連

葬儀社は、チェックリストを用意しています。

葬儀が終わってから行うこと
相続

- 準確定申告　（4か月以内）
- 限定承認・相続放棄　（3か月以内）
- 遺産分割協議　（すみやかに）
- 相続税の申告　（１０か月以内）

相続税改正後、相続税の対象になる方が増えています。
（特に都内に不動産をお持ちの方）

「心」をつなぐ、「信頼」を築き続ける
想親メモリアル

最後に

OSDよりそいネットワークでは、もしもの時に
残されたご家族が慌てないよう、ご相談を受け付けて
おります。

お葬式・お墓に関することは、元気なうちに考えて、
準備ことが大切です。

ご清聴ありがとうございました

ご不明な点などがございましたら
お気軽にお問い合わせください。

想親メモリアル 担当:鈴木まで

☎ 03-5343-7945

携帯:　090-4264-2840
E-Mail:　s-suzuki@soushin-m.com